

6月2日(火)

家庭クラブ主催

青嶺 eco の日

青嶺 eco の日の設定の趣旨 (2008年7月第1回実施)

地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題が深刻化しています。現在、国民一人あたりが排出する CO₂ の量は1日平均で約 6 kg です。08年度 環境省は「目指せ一人一日、1 kg 二酸化炭素削減」を打ち出しました。そこで、青嶺高校家庭クラブでもなにかできることはないかと考え、「みんなで環境にやさしい生活」を考える日を設け、全校で CO₂ の削減に取り組みたいと考えました。

具体的な実施方法

- 1 実施日と期間 6月2日(火) 朝の登校時から下校まで
- 2 6月1日終礼時、別紙を参考にして、クラス全員で取り組む目標を1~3個決める。
(1, 2年生はクラスの家庭クラブ委員、3年生は総務委員が紙に書いて教室に掲示する。)
- 3 6月2日 登校時から下校まで全校で CO₂ 削減のための目標達成に向けて努力する。
- 4 6月3日の朝の SHR または終礼時に、実施状況を家庭クラブ委員または総務委員がクラスで調査する。
→放課後、調査用紙を山野へ提出
- 5 集計…家庭クラブ委員で各クラスの一人あたりの CO₂ 削減量と全校の削減量を調べる。
- 6 評価…実施結果を公表する。また、一人あたりの削減量の最も多いクラスを表彰する。



ペットボトル回収率『容器包装リサイクル法』が施行されてから、欧米に比べ遅れをとっていた日本のペットボトルリサイクルが今では世界最高水準に達しています。PETボトル年次報告書(2002年)によりますと、2001年における回収率は日本が40.1%に達しており、次いでアメリカが22.1%、EUが17.9%となっています。

(別紙)

取り組み項目	具体的な実施内容	CO ₂ の削減量
自動車を利用しません。	通学、外出はバスや電車、自転車、徒歩です。	180g/一人
缶ジュースやペットボトルの飲料を買いません。	飲み物は水筒に入れ、マイドリンクを持ち歩く。	6g/一人
ゴミの分別を完璧にします。	プラスチックや空き缶などリサイクルできるものはきちんと分けて捨てる。	52g/一人
コンセントからプラグを抜いておきます。	ラーフルクリーナー等の電化製品は、使用するときのみコンセントをさす。	27g/クラス
教室の冷房・電灯はこまめに消します。	冷房・電灯は必要なときだけにし、移動教室時や昼休み・放課後(自習時をのぞく)は消す。	240g/クラス
水のムダ使いをやめます。	例： ・水は出しっぱなしで飲まず、コップを利用する。 ・手、顔、足を洗う時、水道の利用時間を10秒短くする。 ・トイレでは余分な水を流さず音姫を活用する。 など	12g/一人
食べ物を捨てません。	ごはんの食べ残しをしたり、食べ物をこぼしたり、落としたりしません。	20g/一人
レジで袋はもらいません。	買い物はマイバッグを持参したり、袋は断ります。	32g/一人